

ひだまい文研

発行者：ひだまり文化研究会
「会誌編集委員会」
発行日：2023年5月19日
「2023年度第3号」
問合せ先：hidamaribunka@gmail.com

準会員制導入に関する“答申書”(特別検討委員会作成)検討中！

【答申書の結論】・・・作成：特別検討委員会

■委員会では、この度の本提言の主旨にある“当会に新陳代謝”をもたらすことを最優先とする“新しいかたち”を生み出すため、現在在籍する全会員の「在籍年数」と「年齢」を把握したうえで、当会の新たな10年を見据えて、以下の通り『当会の定年制』を提案する。
以下の通り、「会則の改訂」(2022年2月28日付け版に追記)を答申いたします。

・第3条 会員の項(3)を設けて追加する。
(3)当会の定年は以下のとおりとする。

会員は満年齢88年に達した年度末、又は当会に入会した年度から数えて、13年を経た年度末の、いずれか早い年度を以て、退会とする。(本答申は2026年度より施行とする)

■特別検討委員会は、本件の答申書を去る4月17日に代表に提出を致しました。

本答申の骨子は、今後も当会が生涯大学修了者の受け皿として存在をし続けて、当会に入会を希望するシニアの方々のライフスタイルに確かな目標を与えるという意義をこれからも失うことなく、且つ、当会活動の基本的な条件(一体した体操&講座)を今後も満たしながら活動を継続していくためには当会に「新陳代謝」が確かに実行される仕組みを、この機会に新たに作る必要があることを再確認した内容となっています。

答申案で検討された様々な提案の内容には、何とか現状のとおり自然退会者に応じた対応で“今を維持できないか”。或いは、会員の体操と座学の出席率を踏まえて、今後さらに高齢化する当会の実情を踏まえて、新たに座学の受講グループのみを設けるなどして緩やかな新陳代謝を促す提案。さらには、この度の仮称・準会員というものに該当する会員の皆さまに対してフォローする策のひとつとして、当会とは別の既存の講座イベント主催者とのコラボやサロンコース(仮称)を設けて当会が、懇親の場を提供するなど、何とか「この会の大きな存在意義でもある“お仲間らとの語らい”の場」を標榜する提案など数多あり、それらの一つひとつを検討致しました。

昨年12月16日、特別検討委員会メンバーの指名を受けてから、臨時集会後のアンケート分析を皮切りに本年3月31日に亘る期間に延べ6回の委員会を開催して、全会員の在籍年数並びに年齢の構成分析などを含め、総合的に検証を行いました。当委員会は、当会に確かな新陳代謝を生み出すものである事を最優先して検討を行った結果、提案された内容の多くは、当会に新陳代謝とは成りがたいものであり、また、その“新陳代謝”を実感するには不確実な時間を要する提案の内容と判断し、最終的にはそれらの提案を見送り、当会に確実な新陳代謝をもたらすことができる年齢による定年と、当会の在籍年数の両方の特性を以て、会員の分布状況に照らして将来予測を行いながら、困難な選択ではありましたが、その妥当性を見出し、当会が永続且つ安定的に運営体を維持するための選択をした結果、答申の結論に至りました。今後、当会「運営委員会」において、答申の2026年度より施行することも含め、遅くとも来る8月中には最終案を取り纏め中ですが、当会のあるべき“新しいカタチ”の検討に際し、本答申書が参考に供すれば検討委員会一同の喜びとするものです。

仮称・準会員制導入に関する特別検討委員会



●左の「QRコード」から
「答申書全文」が閲覧できます。
スマホ等で読み取ってください。

編集後記 「麦秋至る」、暫く前までは今がまさに衣替えの時期でしたが、街ゆく人々の装いはもう真夏の装い。温暖化が為せる因なのでしょうか。芭蕉が“おくのほそ道”に旅立ったのが新暦の5月16日らしい。まだ桜花残るみちのくであったに違いない。旅をするには一番気持ちの良い季節に間違いはないだろうが、どんな支度で旅立ったのであろうか。古に聞きたい。 編集部 Y・O

広報映写版『仮称・ひだまり文研 10年の歩み』制作中！

6月30日成城ホール於「特別講座」同時公開予定

当会では現在、以下の要領で「仮称・ひだまり文化研究会 10年の歩み」と題して映写版の作成に取り組んでいます。この映写版は、新型コロナウイルス感染拡大の鎮静化に伴い、日常生活が戻りつつある今、当会の活動状況をコンパクトにまとめ、世田谷区民の皆さんや生涯大学に在籍する学生の皆さんや修了された方々に当会の活動ぶりをご理解頂いたり、今後更に、せたがや生涯現役ネットワークとの連携を深めていくための広報媒体として活用して参る予定です。

- 作成期間：5月12日～6月23日 ● 完成試写会（予定）：6月23日（講座終了後の15時30分～）
- 映写版の概要：映写時間 15分間。使用する映像及び写真素材は体操&講座の受講風景及びロビー懇談風景。

作成事例の紹介(基本、写真素材をスライド編集して組入れ編集・音声解説入り)



熱心に受講する会員の皆さん
(メイン会場)



元気はつらつの皆さん！
(健康体操にグループ別に参加した会員)

当会主催の講座（体操含む）開催時の会場内は、 “マスク着装”にご協力をお願いします。

去る5月12日の運営委員会にて、5月7日感染症法上の5類移行の決定以降も、従来通り当会が利用する施設内に於いて当会会員は、マスク着装を継続することを、確認事項と致しました。 運営委員会一同

6月30日「特別講座」開催（広報中）

此の講座は、当会の主催により、全ての会員の皆さまを対象として「成城ホール」に於いて2部構成で開催する予定です。会場の収容人員を勘案して一般の方々にも事前の広報を行い、先着100名さまも受講可能な「特別講演会」です。ご友人の皆さまにお声がけなどして、お誘いいただき是非ご参加ください。

● 第1部 13:10～(13:30) ご挨拶&当会映写版放映

● 第2部 13:40～15:40 伊藤 寿講師

演題「海洋国家オランダのアジア進出と平戸・長崎」

※会員の皆さまは事前の受講予約の必要は一切不要です。

多くの会員の皆さまの参加をお待ちしております。

※チラシ内のQRコードから講座資料の閲覧が可能です。

● 当日受付開始時間: 12:30～ ● 開場: 13:00
(成城ホール1階) 成城ホール前(新北口下車徒歩5分)

■ 第1部: 13:10～(13:30) 仮称・ひだまり文化研究会の歩み(スライド放映)
■ 第2部: 特別講演会 13:40～15:40(10分)

【聴講申込の方法】当会専用メールアドレスへ直にお申込み下さい。
(1) 申込代表者のお名前 (2) 参加者数 3人迄(本人含み)

hidamaribunaka@gmail.com
受付期間: 5月26日～6月23日(金) 先着100名様
※会員外対象(会員の方々の申込手続きは不要です)